



「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」 をWEB会議にて実施します！

平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の西日本豪雨、令和元年10月の台風第19号、令和2年7月豪雨など、近年、全国各地で大規模な土砂災害が頻発し、甚大な被害となっています。

湯沢砂防事務所管内で、平成16年中越地震では、芋川流域で1,419箇所の斜面崩壊や55箇所の河道閉塞など大規模土砂災害が発生し、対応に迫られました。

このような大規模土砂災害の発生をふまえ、さらなる地域の安全・安心の向上を目指し、この度、湯沢砂防事務所は、新潟県や十日町市と協同で、合同防災訓練を実施します。

日時：令和5年5月31日(水) 13:30～16:00

場所：WEB会議システムを利用(参加機関ごと)

湯沢砂防事務所2階災害対策室(事務所職員)

参加機関：十日町市、新潟県土木部砂防課、十日町地域振興局

国土交通省北陸地方整備局、湯沢砂防事務所

湯沢砂防スペシャルエンジニア(順不同)

参加者数：全体：約35名

訓練概要：参加各機関をWEB会議方式でつなぎ、実施します。

詳細は別紙1のとおりです。

<その他・注意事項>

◇湯沢砂防事務所2階災害対策室、十日町市役所大会議室は公開で行います。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所 副所長(技)

かねこ ひでき
金子 秀樹(内204)

建設専門官

なかじま くにひろ
中嶋 邦博(内402)

[電話] 025-784-2263(代) [FAX] 025-784-1729(代)

湯沢砂防事務所ホームページ: <http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>

- ①日程概要 13:00～13:30 集合・受付
13:30～13:45 開会・挨拶・訓練の進め方の確認
13:45～15:45 学習型訓練
15:45～16:00 意見交換・講評・閉会

②訓練内容

(1)被災想定:台風に伴う豪雨(平成23年7月新潟・福島豪雨と同じ降雨規模)により、十日町市の各地域で同時多発的に土砂災害(がけ崩れ、土石流、河道閉塞)が発生することを想定。

(2)訓練形式:学習型

司会進行者が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練。司会進行者の状況説明(シナリオ進行)を聞くことによって、参加者全員が災害対応行動等の流れを共有・理解できるのが特徴です。(下記参照)

進 行 者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部あるいは支部と見立て、それぞれに質問する。
回答者は特定せず、1名が組織を代表して、その組織の行動を回答する。

××という機関から、「〇〇地区で大規模な崩壊が発生し、△△の状態となっている」との報告が入りました。この情報を受けて、あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？



質問

回答

訓 練 参 加 者

質問内容に応じて、参加組織の中で回答者を決めて発表する。
回答者は与えられた設問に対して、自身の所属組織の対応内容を回答する。

私たちの組織では、〇〇を第一に考え、□□を行います。併せて、この情報を△△という機関に連絡します。



令和3年度大規模土砂災害を想定した合同防災訓練(津南町)実施状況



湯沢砂防事務所災害対策室



津南町の対応を説明する
桑原津南町長



WEB会議状況

湯沢砂防管内では、今回で5回目の訓練となります。(平成26年度 栄村、平成29年度 南魚沼市、令和元年度 湯沢町、令和3年度 津南町)